

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H29.1.31現在)

	1月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成28年度(今年度)	2件	42件	1人	15人
平成27年度(昨年度)	5件	69件	4人	21人

注1)上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

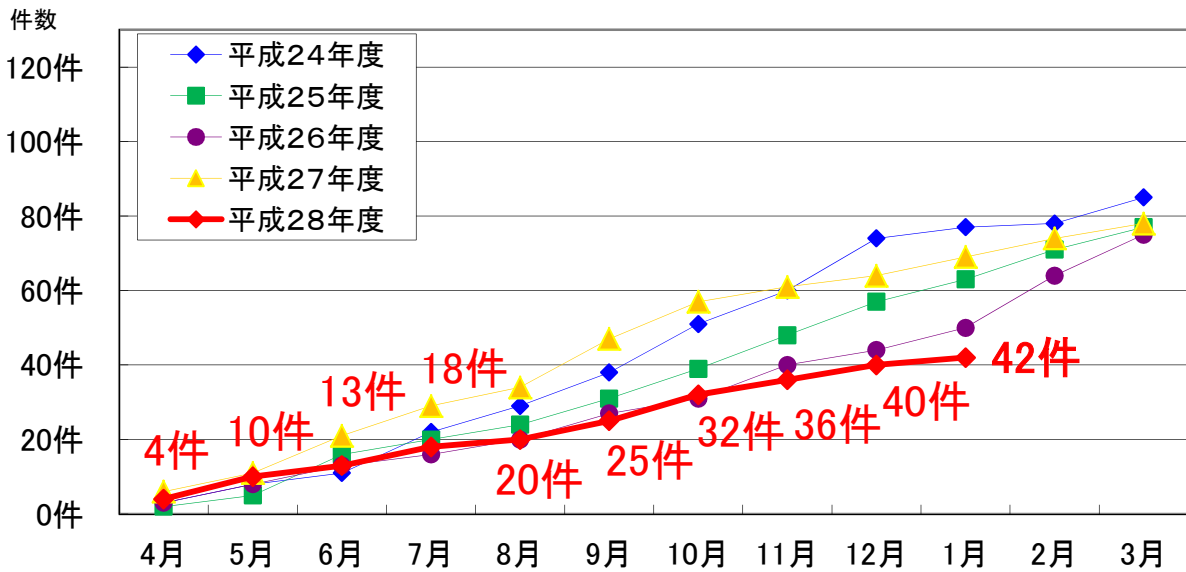
注2)「1月発生件数」は、1/1～1/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3)「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4)「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

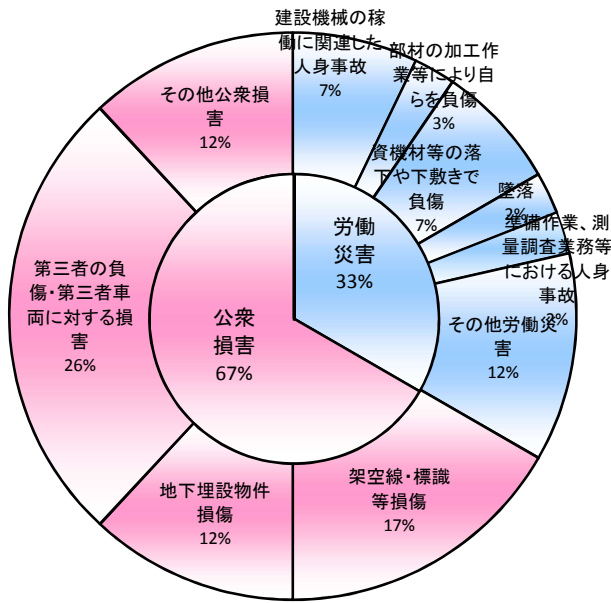
注5)平成28年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成24年度	累計 (月毎) 3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度	累計 (月毎) 2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度	累計 (月毎) 3件 (3件)	8件 (5件)	13件 (5件)	16件 (3件)	20件 (4件)	27件 (7件)	31件 (4件)	40件 (9件)	44件 (4件)	50件 (6件)	64件 (14件)	75件 (11件)
平成27年度	累計 (月毎) 6件 (6件)	11件 (5件)	21件 (10件)	29件 (8件)	34件 (5件)	47件 (13件)	57件 (10件)	61件 (4件)	64件 (3件)	69件 (5件)	74件 (5件)	78件 (4件)
平成28年度	累計 (月毎) 4件 (4件)	10件 (6件)	13件 (3件)	18件 (5件)	20件 (2件)	25件 (5件)	32件 (7件)	36件 (4件)	40件 (4件)	42件 (2件)		

●平成28年度 工事事故発生状況(発生形態別)



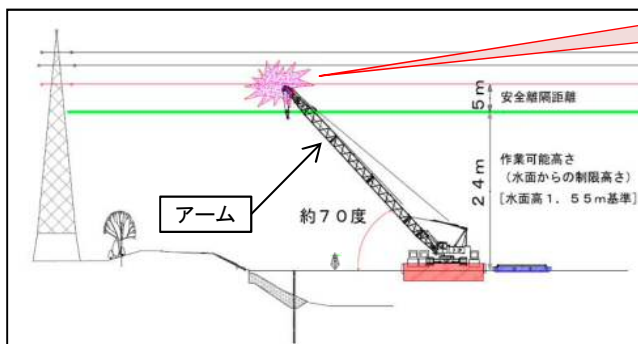
発生形態		H26	H27	H28	過去3年間計
労働災害	建設機械等の稼働に関連した人身事故	4	3	3	10
	部材の加工作業等により自らを負傷	2	1	1	4
	資機材等の落下や下敷きで負傷	4	2	3	9
	墜落	6	7	1	14
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	1	1
	その他労働災害	14	13	5	32
小計		30	26	14	70
公衆損害	架空線・標識等損傷	8	13	7	28
	地下埋設物件損傷	7	4	5	16
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	21	16	11	48
	その他公衆損害	8	14	5	27
小計		44	47	28	119
その他事故		1	5	0	6
計		75	78	42	195

 ..H28年度重点的安全対策項目

発生日時	平成 29 年 1 月 29 日 (日) 14 時 0 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	1~2分程度停電
事故概要	高圧線直下にて、根固めブロック撤去作業に着手しようとしていたクレーン台船のクレーンを旋回させた時に放電(スパーク)が発生したもの。予備線に切り替わるまでの1~2分間送電が完全にストップした。 架空線・標識等損傷			

事故発生状況

台船と高圧線の位置関係

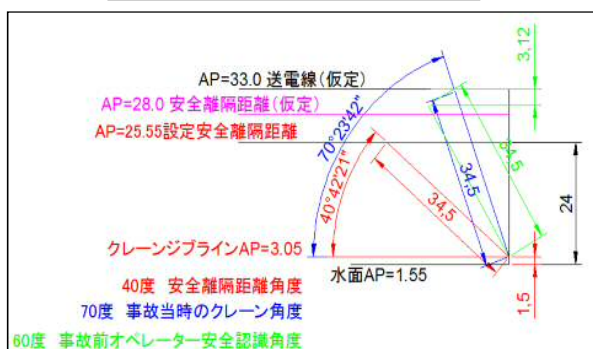


5mの離隔が確保できておらず、放電が発生

現場状況



クレーンアーム角度と高圧線の位置関係



・高圧線直下にて作業を行っていた背面鋼矢板(10H)打設中のクレーン付台船(55t:リミッター付が、本工事で撤去すべき根固めブロックに当たり打設出来なくなったため、上流側で根固ブロック撤去作業を行っていたクレーン付台船(65t:リミッター機能なし)と入れ替え、根固めブロックの撤去作業に着手しようとクレーンを反時計回りに旋回させた時、放電(スパーク)が発生した。

・離隔距離、作業可能高さ、リミッターによる旋回施工時の条件が書かれた「送電線接近作業安全打合せ確認書」が現場内の誰にも伝わっておらず、遵守されていなかった。

【事故発生原因】

・送電線接近作業安全打合せ確認書の内容が現場内の誰にも周知されておらず安全離隔距離(今回5m)を確保できていなかった。 など

【事故防止のポイント】

・架空線直下でのクレーン作業についての安全管理に関する周知徹底を図る。 など